

大学の「今」をもっと知りたい!!

石巻専修大学

育友会広報誌

IKU YU

ISHINOMAKI SENSU UNIVERSITY

[いくゆう]

vol. 31

2024.12

ようこそ石鳳祭へ!!



特集

大好評100円カレー!!

石鳳祭と学生支援

石鳳祭

今年是一般募集し、多数の方にお手伝いいただきました。

10月13日の大学祭(石鳳祭)では、今回で3年目になる育友会企画『餅つき体験と餅の振る舞い』を実施いたしました。育友会活動を広く多くの皆様に知っていただくことに加え、育友会会員同士の交流を促すことを目的に企画いたしました。

今回は、会員有志6名の方にお手伝いをいただきながら、来場者に餅つき体験を楽しんでいただいた後、つきたてのお餅を来場者に振る舞い、学生だけでなく小さなお子さん連れのご家族も餅つきに参加するなど、大変盛り上がりしました。

初めて参加された会員有志6名からは、大学のイベントに親が参加できる機会は貴重なのでこれからも子供達のために継続してほしい。また、他の活動があれば、ぜひ参加したいとの感想が寄せられました。



一般参加していただいた方々



石鳳祭にお越し頂き、誠に有難うございました。コロナ禍の制限もなく、そして天気も恵まれ開催できた事を大変嬉しく思います。行動制限がなくなったとはいえ、今なお予断を許さない状況ですが、学生一人一人が企画、準備をしてたくさんのゲスト、お客様を招き対応する姿を見て大変うれしく思いました。

石巻専修大学育友会 会長 杉沢 福巳



育友会企画「餅つき体験」



多くのブースが出店



人気企画のビンゴ大会も大盛況でした



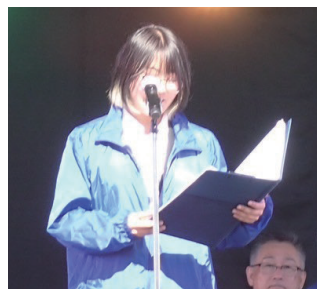
ライブに盛り上がる様子

今年の石鳳祭のメインテーマは「旋風」です。石巻の強い風さえも味方につけ、石巻専修大学の知らせが行き届くようにとの願いが込められております。雨の日が続いておりましたが、天候に恵まれ、風神様を味方につけることができたのではないかと思います。

今年度は大学全体でサークル活動を活性化させる試みが行われており、活動の場を求める学生と話し合いを重ね、新たな企画を多数ご用意させていただきました。

また、石鳳祭は、地域の皆様とのつながりを深める重要な機会でもあります。地域の方々に支えられながら、共に楽しむことができるのは、私たちにとって大きな喜びです。石鳳祭を通じて、地域の皆さんと心を通わせ、新しい関係を築いていきたいと考えております。

最後になりますが、石鳳祭開催にあたり、ご支援、ご協力頂きました全ての方々に感謝申し上げます。



石鳳祭実行委員会 委員長 小林 明日香



100円カレーの日には3杯以上食べる学生も!



カレーの日には学生も多く話が盛り上がります



100円カレー最高です!!



大人気100円カレー

育友会で100円カレーを企画。学生に大好評でした!

今年は物価高の影響で食料品などの値上げが続き、生活が困難な学生が増えています。特に一人暮らしの学生の中には、食事を抜いて生活している人も見受けられます。

育友会では、この状況を少しでも改善するために、学生食堂の協力を得て「ワンコインカレー」の販売を開始しました。この企画では、栄養たっぷりな温かいカレーを学生にお腹いっぱい食べてもらうことを目指しています。

通常340円のカレーを100円で提供する「ワンコインカレー」は、多くの学生に利用され、大好評です。中にはカレーを3杯も完食する学生もいました。



百円カレー

INTERVIEW

育友会とはどのような会かご存じですか?
また、育友会へのご要望はありますか?

- ・父と母が学生を支援する会
- ・私達学生の父母によって構成されている会
- ・100円カレーを企画してくれた会
- ・100円メニューの日をもっと増やしてほしい!!

100円カレーの企画について
どのように思いますか?

- ・素晴らしい企画で感激した!
- ・お金が少ないのでありがたい
- ・一人暮らしをしている人にとってお財布に優しい企画
- ・もっと日数を増やして欲しい

100円カレーを購入する際の
気持ちをお聞かせください

- ・安くとてもありがたい!
- ・美味しいカレーを安く食べられるので嬉しい
- ・普段は節約してお昼を食べない事があるのですが、100円カレーなら食べれます!

今後カレー以外で実施して欲しい
メニューはありますか?

- ・ラーメン、そば、うどんなどの麺類
- ・食堂で一番売れているメニュー
- ・季節にあった食べ物のメニュー
- ・定食などのセットもの

理工学部

大自然と最先端デジタル教育の融合を、石巻で。

理工学部紹介



生物科学科

特徴

- 海から山までフィールドに恵まれた石巻で実践的に学ぶ
- 分子から環境までサイエンスを総合的に学ぶ
- バイオサイエンスの学びを通して思考力と対話力を養う



■海洋生物・環境コース

多様な授業や実験を通して海洋生物と環境に関する幅広い知識を身につけます。生き物や自然に直接触れながら、実践的に学べます。

■動物・植物コース

豊かなフィールドで生物観察や行動調査などの実習を行い、動物や植物の生態・生理・発生・分類・進化について専門知識を深めます。

■微生物・生命分子コース

様々な生命現象を分子レベルから探究することにより生命への理解を深め、授業・実験・実習を通して微生物と生命分子を探る力を総合的に高めています。

■自然科学コース

分野を問わず幅広く自然科学を学びたい人、中学・高校理科の教員をめざしたい人に適したコースです。興味に応じた専門科目の履修が可能です。

情報電子工学科

特徴

- 自ら手を動かす実践的教育
- 社会のニーズに応える2つのコースを設定
- 多彩な機能を持つ本格的な設備



■情報通信コース

人工知能、IoT、ロボットなどの先進的デジタル技術を駆使して、持続可能で豊かな社会の実現に積極的に貢献できる人材の育成をめざします。

■電気電子コース

半導体デバイス、集積回路に関わる実験、プログラミングを駆使したシミュレーションなどを通して、次代を担う電気電子工学エンジニアの育成をめざします。

機械工学科

特徴

- 2つのコース設定で将来の進路を明確にしながら学ぶ
- 少人数による体験を多く取り入れた学びの環境
- 工学系学科横断的教育プログラム



■機械創造コース

ロボットやエネルギー関連機器などの「ものづくり」に関わる専門知識と技術を習得し、現在の機械産業の課題解決に活用できる創造的な能力を育てています。

■自動車コース

自動車をベースとして、幅広い専門知識と技術を習得しています。東北の大学で唯一、ガソリンとディーゼル両方の2級自動車整備士の受験資格が得られます。

食環境学科

特徴

- 理学・工学の視点から食と自然環境の問題にアプローチ
- キーワードは「食」「自然と環境」「人の役に立つ化学」
- 様々な分野で活躍できる技術者・管理者を養成



■食品分析コース

食の安全の基本となる食品成分分析や放射線測定などの技術者を育成します。

■食品工学コース

食品のおいしさや機能性をカガクし、新しい食品を創造する技術を持った食品工学技術者を育成します。

■水環境コース

森・川・海の自然環境調査や水質の浄化、“自然をまもる”技術を身につけた環境管理者を育成します。

※令和4年4月から学生募集を停止。(理工学部 定員変更)

研究者、経営者、ビジネスパーソン、教育者、文化人を育成する

経営学部

石巻で学び、地域を回す。

経営学科

特徴

- 経営をベースにしつつ専門分野の学びを深める
- 「理論」と「実践」の双方を重視
- 「学び方を学ぶ」目標に向けて自ら学び続けられる力を養う



■ビジネスマネジメントモデル

事業を成功へと導くために、ヒト・モノ・カネ・情報を有効に活用することができるゼネラリストをめざします。

■企業会計モデル

企業経営における利益測定、企業経営状況の説明、納税額の計算という社会的責任を果たすことができるスペシャリストをめざします。

■地域観光・マーケティングモデル

地域ブランドの創造、魅力あるまちづくり、観光を活用した地域活性化に資する人材をめざします。

情報マネジメント学科

特徴

- ビジネス・データ分析・コンピュータに関する科目をバランスよく学ぶ
- デジタルの力でより良い社会を創るための素養が身につく
- 経営理論やデータを活用し、相手を説得する力が身につく



■ビジネスデータモデル

データに基づいたビジネスを展開するための方法を理論と実践から学んでいます。

■ビジネスデザインモデル

ICTを活用した新しいビジネスシステムを構築するための方法を理論と実践から学びます。

(就職先例)・高等学校教員(情報)・ICT産業・製造業・卸売・小売業・金融業・建設業・コンサルティング業・NPO・NGO団体・ほか

※新学科の為卒業生実績なし

人間学部

人間存在とその歴史や文化・教育、明日へのカギを解き明かす。

人間文化学科

特徴

- 2つのコースで体系的に人間文化を学ぶ
- 課題解決型の科目を数多く配置
- 中・高教諭の一種免許、学芸員資格も取得可能



■異文化理解・芸術文芸コース

異文化に関する多角的な知識と諸言語の運用能力、芸術一般に関する幅広い知識を身につけ、文化に関する情報を収集・分析・発信し、地域文化の発展・振興に貢献します。

■地域社会支援コース

地域社会に焦点を当て、地域における社会教育や産業、制作について学び、地域社会の現状と課題について多角的に理解し解決に向けた提案を行うことができる力を養います。

人間教育学科

特徴

- 現場で体験的に学ぶ
- 現場で活きる強みと専門性を身につける
- 現場経験が豊富な教員が就職を支援



■保育所・幼稚園モデル

保育・教育の目的や内容・方法、乳幼児の心理や発達などについて専門的に学び、保育や幼児教育の現場で必要とされる実践技術を習得します。

■小学校モデル

学校教育の目的、内容・方法、幼児・児童の心理や発達、教育的支援の方法などについての専門知識・技能を学び、教育実践を通して教育活動に必要な実践技術を習得します。

経営学部紹介

人間学部紹介



社会貢献・連携

“令和6年度いしのまき祭り” 石巻専修大学・専修大学の学生が神田キャンパスで開催

10月27日(日)、東京都千代田区の専修大学神田キャンパス10号館において「令和6年度いしのまき祭り」を開催しました。



「いしのまき祭り」は、石巻専修大学と専修大学の学生が協同し、首都圏で宮城県石巻市の魅力を発信するイベントとして令和5年度に初めて開催され、今年で2回目となります。学生たちは石巻市の協力のもと実施した課外活動、学生間でのワークショップなどを通じて地域課題を発見し、学生目線で石巻を紹介する企画を進めてきました。当日は、学生企画に加えて特産品販売など、石巻市の魅力を発信するさまざまなイベントが行われ、用意した無料の「いしのまき焼きそば」は、200食がすぐなくなるほどの人気。415名にのぼる来場者で大いににぎわいました。

また、石巻市の齋藤正美市長も駆けつけ「さまざまな企画を通して、多くの方に石巻市のファンになっていただきたい」と呼びかけました。

大漁旗を使ったオリジナルカラビナづくりワークショップ

大漁旗をリメイクしたアクセサリなどをつくる石巻発のブランド「FUNADE」にご協力いただき、たくさんの思いが詰まった大漁旗から「世界に1つだけのカラビナ」をつくるワークショップを開催。



当日は事前にレクチャーを受けた学生が来場者へつくり方を丁寧に指導し、用意したカラビナがすべてなくなるほどの大盛況となりました。

特産品販売

一般社団法人カイトクにご協力いただき、石巻の魅力あふれる特産品を、学生が考えた「商品レイアウト」で販売しました。

学生たちはお客様とのコミュニケーション方法や、商品をより魅力的に見せるレイアウトのコツなどを事前に学び、それぞれが個性あふれる接客対応で、石巻の魅力をたくさんの来場者へ発信しました。



石巻紹介CM映像

学生が石巻市と連携して制作し、地域の魅力を30秒のCMで表現するコンテスト「みやぎふるさとCM大賞」に出品した映像を通して、来場者に石巻の魅力を紹介しました。



当日は、いしのまき祭りのために制作した特別映像も映写し、学生が来場者とコミュニケーションをとりながら、石巻の魅力を発信しました。

スタンプラリー企画

学生企画を来場者の方々にご覧いただき、より深く石巻の魅力を知ってもらいたいという思いから、スタンプラリー企画を実施しました。

参加者には石巻市の合同会社よあけのてがみが展開する「石巻の猫ポストカード」をプレゼント。同ブースはいしのまき祭りの受付も兼ね、学生と来場者のコミュニケーションも見られました。

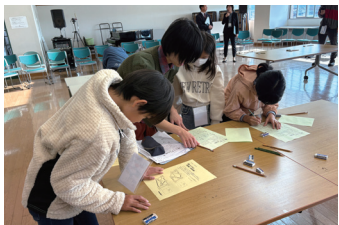


生物科学科・人間教育学科

算数トライアスロンを開催！

11月9日（土）、本学の学生ホールで、宮城県初開催となる『算数トライアスロン』が開催されました。『算数トライアスロン』とは、通常の授業のようなものではなく、立った状態で数字に関するパズルや、迷路、一筆書きなどの問題を解いていくものです。このイベントは、地域の学力の向上・発展を支援するとともに、教員を志す学生たちが、地域の児童たちとの交流を通し、教育経験をつんでほしいという目的のもと、学生が主体となり、本学で実施いたしました。イベント当日は、石巻圏域の小学生（4年生～6年生）、約25名が参加しました。

「算数トライアスロン、スタート!」という声がかかると、児童たちは足早に問題用紙を受け取り、一生懸命問題に取り組みました。学生たちは、プレの反省を活かし、児童への声掛けを工夫したり、児童が自分の力で問題を解けるよう一緒に考えを整理したりと活躍していました。小学校の授業より長い60分という時間で実施しましたが、参加した児童たちは最後まであきらめずに問題を解ききりました。なかには、4つの通常問題に加え、最終問題、ボーナス問題まで到達した児童もあり、本学の学生たちからは驚きの声があがっていました。終了後、運営した学生たちから「児童たちが一生懸命問題を解いていてよかった。」といった感想がよせられました。学生たちはプレの開催から、事前の打ち合わせ・準備等、長い期間をかけて今回のイベントに臨んでくれました。今回の経験を活かして、今後も活躍してくれることと思います。



参加した児童からのコメント

- ・質問に丁寧に教えてもらったから楽しかった。
- ・むずかしいところが楽しかった。
- ・算数ではあまりでない問題がでたから楽しかった。

見守っていた保護者からのコメント

- ・とてもいい体験でした。あきらめず問題を解いていて集中力が素晴らしいかった。
- ・身近な大学ですが外でのイベント以外で中に入ったのははじめてです。このようなイベントがこれからもあるとうれしいです。
- ・子どもたちが、投げ出したり、わからないと騒いだりすることなく、難しい問題に立ち向かっていて頼もしかったです。

人間学部

「おやこフェス in 石巻専修大学」参加

10月27日（日）、本学で開催された「おやこフェス in 石巻専修大学」に人間学部の学生がボランティアとして参加しました。「地域スポーツ論（担当：高橋功祐助教）」の授業の一環で人間文化学科の学生が運営スタッフとして参加しました。また、体育館には、石巻専修大学ブースが設けられ、人間教育学科の高橋有香里ゼミと高橋功祐ゼミの学生が子どもたちとゲームなどで触れ合いました。グラウンドには、遊び運動・サッカーエリアコーナーも設置され、学生たちはシャボン玉やサッカー体験をする子どもたちをサポートしました。サッカー部の学生も参加し、子どもたちとサッカー遊びを通じて運動することの楽しさを伝えました。



学生生活

サッカー部が「石巻国際サッカーフェスティバル」に参加

10月26日（土）・27日（日）の2日間、石巻市湊地区コミュニティ広場で開催された「石巻国際サッカーフェスティバル2024」に本学サッカー部の学生が参加しました。石巻国際サッカーフェスティバルは、石巻に住む様々な方の国籍を超えた交流を目的として2023年から始まり、このイベントには本学人間学部人間文化学科の西川ゼミも協力しています。第2回目を迎えた今回は漁船や水産加工会社などで働いているインドネシアやベトナム、ミャンマーなどの国籍を持った多くの選手が集まりました。本学サッカー部の学生6名は石巻サッカー協会（IFA）選抜チームの一員として参加し、26日（土）の試合ではチーム「ガルーダインドネシア」と対戦し、2-1で勝利。



27日（日）は5チームでトーナメント戦が行われ、石巻サッカー協会選抜チームは見事優勝という成績を収めました。今回のイベントでは、本学の学生がサッカーという全世界共通のスポーツを通じて、国籍関係なく交流を深めるきっかけとなりました。

石巻専修大学のキャリア支援の強み

■ キャリアコンサルタントによる「顔の見える支援」

学科ごとに担当のキャリアコンサルタントを配置し、一人ひとりじっくり向き合いサポートします。少人数教育の特色を活かし、全学生の就職活動をきめ細かにサポートします。

■ 個別相談

インターンシップ、就職活動など進路に関する相談は、学内での対面、またはオンラインで対応しています。履歴書添削相談や、面接練習も行っています。

■ 進路支援プログラム

進路支援プログラムは、独自に構築した就職活動に必要な力を身に付けるプログラムです。

3年次生を中心に、インターンシップ講座や、書類選考突破講座、模擬面接会などを実施しています。

■ 就職支援システム (S-net)

就職支援システム (S-net) は、就職活動を行う在 student と進路支援係を結ぶコミュニケーションツールです。求人情報 (年間延べ18,000件)、卒業生 (OB・OG) 情報、先輩方の就職活動記録などを検索・閲覧することも可能です。学内の端末やスマートフォン、自宅のパソコンからも利用できます。

■ 学外機関連携

宮城県内の大学生と、ものづくり企業のマッチングを目指す「みやぎものづくりカレッジ」と連携し、県内ものづくり企業の説明会や見学会の開催を行っています。また、石巻商工会議所と連携した、インターンシップ事業、ハローワークアドバイザーによる求人紹介と就職相談を行い、石巻圏域への就職を支援していきます。この他、東北各県の就職支援団体と連携して情報発信と個別相談対応を行い、地元への就職支援を行っています。



専修大学との連携による就職支援3つのポイント

1 専修大学主催セミナーへの参加

専修大学主催の「就職活動支援各セミナー」に専修大学の学生とともに参加します。SPIオンライン準備講座、SPIオンライン模擬試験など受講が可能です。

2 専修大学キャリア形成支援課の利用

首都圏で就職活動を行う拠点として、専修大学神田キャンパス、生田キャンパスのキャリア形成支援課を利用することができます。

3 専修大学との連携講座

令和6年度より、専修大学 (神田キャンパス・生田キャンパス) の公務員試験講座 (講義動画) を受講できるようになりました。受講方法は、学内の専用教室での視聴またはオンデマンド視聴を選択することができます。3年間にわたるカリキュラムで実力が身につくよう計画された合理的なプログラムが1年次から受講可能です。

ひとりに寄り添って、きめ細かくサポートします。

内定者
VOICE

就職活動体験談

内定者の話を直接聞けるチャンス!

本学では、4年次の内定者が3年次生に直接アドバイスする機会として、オンラインで就職活動体験談を開催しています。内定が決まった先輩たちは、どのように就職活動を行ってきたのか、より身近な視点で体験談が聞けるため、3年次生からは「とても参考になった」「自分も頑張ろうという気になった」などといった声が聞かれていました。

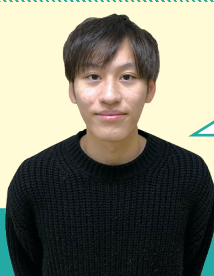
白石食品工業株式会社に内定



私は食べることが好きで、手軽に食べられる食品を作りたいと思い石巻専修大学へ入学しました。勉強を進める中で、どれだけ注意しても食品の安全に絶対はないということ、事故が起こった際にすぐに対応できる体制が大切だということを学びました。この学びをすぐに活かして早く活躍したいと思います。

理工学部 岩手県 水沢高校出身
食環境学科 沼田 尚也 さん

一般財団法人日本食品検査に内定

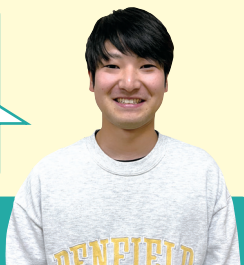


在学中に取得した食品衛生監視員、食品衛生管理者などの資格を活用できる仕事に絞って就職活動をすすめてきました。入社する一般財団法人日本食品検査は理化学、微生物など分析を専門にしており学んできたことを十分に活用できることを楽しみにしています。

理工学部 青森県 弘前中央高校出身
生物科学科 岩谷 麗騎 さん

フォルクスワーゲンジャパン株式会社に内定

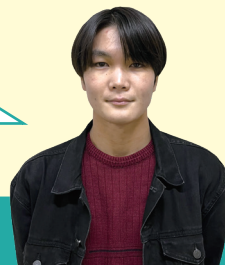
石巻専修大学へ入学したのは自動車整備士の勉強ができることに絞って大学受験をしていたからでした。ここでの学びを入社後に活かして早く活躍したいと思います。皆さんもまずは自分がどんな仕事をしたいのかを見つけてみてください。そこから少しずつ深掘りしていくと楽しい未来が見えると思います!



理工学部 福島県 白河旭高校出身
機械工学科 古張 慶 さん

株式会社ユアテックに内定

生活に欠かせないライフラインを支え、人々の生活を豊かにし、安心と安全を多くの人に届けたいという思いから、実験器具や資料などが豊富な石巻専修大学で学ぶことに決めました。就職活動では先生方のサポートが手厚く、特に面接対策が良い結果につながりました。皆さんの就職活動も良い結果になるよう応援してます!



理工学部 宮城県 仙台工業高校出身
情報電子工学科 佐藤 祐太 さん

丸三証券株式会社に内定



経営だけではなく震災からの復興についても学ぶことができ、多方面で成長できたと感じます。始めはここで働きたい!と思うようなところをなかなか見つけられず苦労しましたが、サポートしてくれた先生方、両親に感謝しています。悩みは尽きないし、本当に自分がしたいことは何なのか見失いそうになるときもあるかと思いますが、後悔のない選択をしてください!

経営学部 秋田県 花輪高校出身(現 鹿角高校)
経営学科 中野 桜雪 さん

株式会社トイックスに内定



高校の時からシステムエンジニアに興味があり、その職種で活かせる学びができると感じ石巻専修大学に入学しました。就職活動は思い通りに進まず焦りが出たり、周りと比較して落ち込んでしまうこともありましたが、周りを頼りながら焦らず自分のペースで頑張れば良い結果が返ってくると思います。頑張ってください!

経営学部 宮城県 常盤木学園高校出身
情報マネジメント学科 門脇 絵里香 さん

塩竈市役所に内定

在学中にボランティアやスピーチコンテストに取り組むことができ、石巻専修大学は自分らしくチャレンジできる環境で入学してよかったと思います。今はスキルアップのために勉強して社会人生活に向けてマイペースな生活を過ごしています。皆さんもたくさんチャレンジして頑張ってください!



人間学部 宮城県 仙台育英学園高校出身
人間文化学科 京野 久海 さん

公務員(小学校教諭)に内定

小さいころから小学校教諭になりたいという夢があり、石巻専修大学で身に付けた防災についての知識を教育に役立てていきたいという思いを軸に就職活動をすすめてきました。宮城県で採用されたので故郷に貢献できることが今の大きなモチベーションとなっています!



人間学部 宮城県 岩ヶ崎高校出身
人間教育学科 菅原 音々 さん

北海道・青森県支部

北海道・青森県支部長 杉沢 福巳

北海道、青森県支部長の杉沢です。支部懇談会、青森会場にご参加下さいました会員の皆様ありがとうございました。

日頃の学生の様子や行動などを教職員より聞ける貴重な機会ですので、より多くの会員の皆様にご参加頂き、情報、意見交換できる事を楽しみにしております。



秋田県支部

秋田県支部長 伊藤 清人

今年度から秋田県支部長を務めさせて頂いております伊藤清人です。

支部懇談会・秋田会場では、昼食を取りながら和やかに懇談することができました。お越し頂きました会員の皆様、大変ありがとうございました。懇談会においては学生の日頃の活動や履修状況、就職活動への取り組みなど教職員の方々と有意義な情報交換を行うことができました。

子供の親として日頃から石巻専修大学と接する機会が少ないなかで、育友会の活動は支部懇談会や石鳳祭への参加などを通じて学生の活動状況に触れたり、教職員の方々と直接情報を交わすことができる貴重な取組みであると感じております。引き続き多くの学生が有意義な大学生活を送れるよう、育友会活動を盛り上げていきたいと考えておりますので、多くの会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。



宮城県支部

宮城県支部長 木見尻 亜紀

宮城県支部長を務めさせて頂いております木見尻亜紀です。

世間はコロナ禍以前の日常を取り戻し、支部懇談会も通常に開催することができました。支部懇談会では、食事をとりながら学生生活の様子や親としての苦労など情報交換をすることができました。ご参加して下さいました会員の皆様、ありがとうございました。

石鳳祭の「餅つき体験と振る舞い」には昨年度より参加させて頂きました。当日は、会員の皆様方と一緒に餅つきをして、学生の皆さんや来場したお客さんにつきたてのお餅を振る舞い、大学祭を楽しむことができました。また、大学の先生方とお話する機会もあり、有意義な時間を過ごすことができました。教職員の皆様には温かい御支援と御配慮をいただき、感謝いたします。

来年度の支部懇談会でも、たくさんの方とお会いできることを楽しみにしております。



岩手県支部

岩手県支部長 小池 佳子

岩手県支部長を務めさせて頂きました小池佳子です。

今年度、ブランニューキタカミを会場に開催した支部懇談会にお越し下さいました会員の皆様、ありがとうございました。

今回も参加者の皆さんで昼食をとりながら、なごやかな雰囲気懇談をすることができました。大学での学生の様子や成績表の見方、就職活動についてなど、日頃接する機会の少ない大学の先生方と直接お話をすることができ、有意義な会となりました。

次年度も引き続き懇談会を行う予定です。ぜひ多くの皆様にお越しいただき、子供たちのよりよい未来のため、情報交換ができれば、と思います。たくさんの会員の皆様にお会いできることを楽しみにしております。



山形県支部

山形県支部長 齋藤 邦之

今年度から山形県支部長を務めさせて頂いております齋藤邦之です。

今年度はコロナ禍以前の日常を取り戻し、支部懇談会を通常どおりに開催することができました。

ご多忙中、ご参加くださった会員の皆様に感謝申し上げます。

支部懇談会では、成績表の見方や就職活動について情報などに加えて、学生の日頃の様子などを聴ける貴重な機会となりました。ご対応頂きました教職員の皆様に感謝申し上げます。

次年度も、より活発な意見交換をしていけるよう、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。



福島県支部

福島県支部長 平手 健也

福島県支部長を務めさせて頂いております平手健也です。

今年度はコロナ禍以前の日常を取り戻し、支部懇談会も通常に開催することができました。ご多忙の中にご参加くださった会員の皆様、ありがとうございました。学業や就職について、日頃の学生の様子などを聴ける貴重な機会となりました。

いつも温かく子供達を支えてくださる教職員の皆様に心より感謝申し上げます。改めて皆様とお話ししますと、離れて暮らす子供達を思う気持ちや心配、将来への不安など同じ思いをされているのだと感じたところです。皆さんと同じ思いを共有する事で安心する事が出来ました。次年度も、より活発な意見交換をしていけるよう、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。引き続きよろしくお願いいたします。



からのメッセージ

関東支部

関東支部長 新倉 修吾

関東支部長を務めさせていただいております新倉修吾です。皆様には日頃よりご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。



専修大学神田校舎で支部懇談会を開催し、多くの会員の皆様にご参加いただきました。特に、首都圏での就職活動の進め方や具体的なポイントを共有できたことに、手応えを感じております。本年度も、引き続き学生の皆さんやそのご家族のサポートに尽力してまいります。また、その他の活動についても、皆様と一緒に新しい取り組みを検討し、支部としての結束を深めていきたいと考えております。皆様のお力になれるよう努めてまいります。

どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

九州・沖縄支部

九州・沖縄支部長 荒牧 幸成

九州・沖縄支部長を務めさせていただいております荒牧幸成です。



今年度は喜ばしいことに専修大学熊本玉名高校で大学の先生方をお迎えし支部懇談会を開催することができました。九州からの在学学生は他地域に比べて多くはありませんが有意義な意見交換や学生達の学びの場、日常生活について知る大変貴重な時間を過ごすことができました。九州にまで足を運んでくださった大学関係者の皆様方には感謝申し上げます。

これから先より九州、沖縄地域から多く学生が増え九州支部がさらに盛り上がることを期待しております。



支部懇談会山形会場



支部懇談会石巻会場



支部懇談会北上会場



支部懇談会熊本会場

石巻専修大学育友会 主任からのメッセージ

Message

会員の皆様と 大学の架け橋 としての育友会



石巻専修大学育友会 主任
人間学部 特任教授 横江 信一

年度当初に育友会で計画した事業については、滞りなく行うことができました。これも偏に、杉沢会長をはじめ育友会役員並びに会員皆様のご理解とご協力のお陰であり、大学関係者一同衷心よりお礼申し上げます。

さて、育友会は、学生諸君のご家族の皆様と大学との間で緊密に連携を持つことにより学生諸君の学生生活と社会への旅立ちを支援するための組織であり、会員相互の交流の輪を広げ、本学の魅力を発信する絶好の機会でもあります。

今年度は、東北6県と東京、熊本で「支部懇談会」を開催し、昨年度を上回る参加人数であり大変喜ばしく思います。初めて参加された会員も多く、参加された方の感想として「初めての参加でしたが、わかりやすく、とても楽しんで学べました」「先生との懇談が、とても良かったです。息子の様子、学習している内容など先生から教えていただくことで安心できました」「現在1年生ですが、就職活動についても聞く事ができて参考になりました」といった感想が寄せられました。今後も、学生一人一人にきめ細やかな対応をしている一端をお伝えし、会員同士の懇親を深めるとともに会員の皆様と大学の架け橋になればと考えます。

さて、10月の大学祭（石鳳祭）では、今回で3年目になる育友会企画『餅つき体験と餅の振る舞い』を実施いたしました。育友会活動を広く多くの皆様に知っていただくことに加え、育友会会員同士の交流を促すことを目的に企画いたしました。今回は、会員有志数名のお手伝いをいただきながら、来場者に餅つき体験を楽しんでいただいた後、つきたてのお餅を来場者に振る舞い、学生だけでなく小さなお子さん連れのご家族も餅つきに参加するなど、大変盛り上がりしました。

はじめにも述べましたように、育友会は“学生諸君の学生生活と社会への旅立ちを支援するための組織”です。それには、学生諸君の大学での勉学、課外活動、就職活動など石巻での生活の様子をできるだけ多くご家族の皆様にお伝えすることが重要な役割の一つだと考えています。さらに、育友会会員相互の情報交換と交流の場を提供していくことも大切なことだと考えております。

大学のホームページ内にある育友会ページは、大学のホームページのトップ画面の上部にある「保証人」をクリックすると「育友会」があり、それをクリックすると育友会のページを開くことができます。今後も、この育友会のページをどんどん活用して、先に述べたように石巻での学生諸君の生活の様子をご家族の皆様にごできるだけ早くそして多くお伝えしたいと思っています。

どうぞ、ご子女の勉学や大学生活についていつでもスマホなどで気軽にご相談ください（ikuyu@isenshu-u.ac.jp）。そうした不安或いは疑問に育友会の役員と教職員が協力してご返事させていただきます。そして、本学に対する忌憚のないご提言やご意見もお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ごあいさつ



石巻専修大学育友会
会長 杉沢 福巳

会員の皆様には、育友会に対して日頃よりご支援ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

育友会は「大学と学生の家庭との連絡を密にし、大学の発展・向上に寄与し、会員相互の親睦を図る」という役割を担うため、保護者の皆さまの要請を受けて平成3年（1991年）に発足いたしました。そして30数年余り、ご子女の成長を見守りながら様々な活動を事業計画に基づき実施して参りました。

支部懇談会につきましては、東北6県（宮城県は石巻と仙台）と東京都（専修大学）そして熊本県（専修大学熊本玉名高等学校）の9会場で開催し、延べ142名（昨年117名）の皆様にお越しいただきました。大学からは教職員を派遣頂き、大学の現状、学業及び就職等について説明を頂きました。また食事をしながら懇談できたことは大変有意義な機会でありました。個別相談では、学業・就職活動・資格取得そして学生生活のことについて質問を頂き、学科所属の先生方に丁寧にお答えいただきました。会員の皆さまにおかれましては、ご子女が大学生活という生活環境に慣れながらも、学修面や生活面に支障なく取組めているか戸惑いや不安を感じることもお有りかと存じます。また上級生の会員の皆さまは、厳しい就職戦線の只中におられ、親としてどのように立ち居振る舞えばよいかわくもあろうかと思ひます。そうした戸惑いや不安を解消いただけたと存じます。

今年度育友会では、学生食堂で「100円カレー」を4月から開始し、夏期休暇期間を除いた10月までの5か月間で約5,800食（1日当たり232食）を提供しました。この「100円カレー」の提供は、昨今、物価高の影響による食料品等の値上げで生活が困窮する学生が増加しており、特に一人暮らしでは食事を抜いて生活している学生もいる様子が伺えました。このことを踏まえ、学生の食事面については、安心して学生生活に取組めるよう、栄養たっぷりで温かいカレーをお腹いっぱい食べてもらう企画として開始したものです。

また昨年に引き続き、育友会の活動を来場者に広く周知するとともに、育友会員同士の交流を図ることを目的に『餅つき体験と餅の振る舞い』を大学祭で実施しました。餅つき体験では子供達が楽しそうに杵を振り下ろし、お母さま方はその姿を写真に撮っているのが印象的でした。約500個用意した、あんこ餅とききなこ餅は集まった方に振る舞うことができました。また、この日のために集まって頂いた育友会員様のご協力もあり、大学祭のイベント実施に頑張っておられる学生さんにも、差し入れることができました。

育友会では毎年度、学生への助成として就職活動用具の提供や、サークル活動への支援を行っております。またこの他に、大学の防災・防犯面の支援や学生に有益な空間作りのためベンチの寄贈も行っております。これからもご子女が、皆様方のご理解、励ましの中で大きく健全に大学を巣立っていくために育友会が多くの実績を積み重ね、役割を果たして参りたいと考えておりますので、会員皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度 育友会役員紹介

役 職	氏 名	(学部学科・学年)
会長 兼 北海道・青森県支部長	杉 沢 福 巳 (すぎざわ ふくみ)	理工／情報電子工・3年
副会長	櫻 井 潤 (さくらい じゅん)	人間／人間教育・2年
監査役	佐々木 知子 (ささき ともこ)	人間／人間文化・4年
監査役	及 川 浩 彦 (おいかわ ひろひこ)	理工／生物科学・2年
幹 事	高 松 輝 賢 (たかまつ てるまさ)	理工／生物科学・2年
幹 事	大 澤 房 子 (おおさわ ふさこ)	人間／人間教育・1年
幹 事	星 由 香 里 (ほし ゆかり)	人間／人間文化・1年
北海道・青森県支部長	杉 沢 福 巳 (すぎざわ ふくみ)	理工／情報電子工・3年
秋田県支部長	伊 藤 清 人 (いとう きよひと)	理工／機械工・3年
岩手県支部長	小 池 佳 子 (こいけ よしこ)	理工／生物科学・4年
山形県支部長	齋 藤 邦 之 (さいとう くにゆき)	理工／生物科学・2年
宮城県支部長	木見尻 亜紀 (きみじり あき)	理工／人間教育・3年
福島県支部長	平 手 健 也 (ひらて けんや)	経営／経営・1年
関東支部長	新 倉 修 吾 (にいくら しゅうご)	理工／生物科学・2年
九州・沖縄支部長	荒 牧 幸 成 (あらまき こうせい)	経営／経営・2年



令和5年度 事業報告について

1 育友会員との連絡強化と育友会広報活動

- (1) 会員ご子女の『修学状況通知書(成績)』、『履修届』の送付に係る郵送費(4月末日発送分)を支出した。
- (2) 大学の概要や育友会の活動等を広く広報するための会報『いくゆう』(第30号)を発行した。
- (3) 学校法人専修大学が発行し、本学を含む2大学の活動状況を伝える新聞『ニュース専修』を毎月送付した。(9月号まで発行/年11回)
- (4) 『育友会ホームページ』にて各種行事等の案内や情報提供を継続して発信した。

2 会議の開催

育友会の円滑な運営を行うため次の会議を開催した。

- (1) 定期総会 令和5年 5月28日(日) 実施
- (2) 役員・幹事・支部長会 令和5年10月 8日(日)【石鳥祭】実施
令和6年 3月20日(水)【学位記授与式】

3 育友会支部懇談会の開催

支部懇談会を8会場で開催した。

開催日	開催地	会場
5月28日(日)	宮 城(石巻)	石巻専修大学
6月11日(日)	岩 手(北上)	プランニューキタカミ
6月18日(日)	山 形	山形国際ホテル
6月25日(日)	宮 城(仙台)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口
7月 2日(日)	青 森	ホテル JAL シティ青森
7月 9日(日)	秋 田	ANA クラウンプラザホテル秋田
7月16日(日)	福 島	ホテル福島グリーンパレス
7月16日(日)	東 京	専修大学神田校舎

4 大学祭への参加

育友会の企画として大学祭に参加する。大学祭への参加は、育友会の活動を来場者に広く周知するとともに、育友会員同士の交流を促すことを目的に実施した。

名称:『餅つき体験と餅の振る舞い』

状況:約600名に餅を振る舞い、大学祭を大いに盛り上げた。

5 学生への助成

3年次生が就職活動を開始するために必要となる就職活動用グッズの購入費用を支援した。

6 学生に対する援助

サークル活動に対する援助を行った。特に石鳥祭を開催した石鳥祭実行委員会や硬式野球部、女子競走部、弓道部等へは手厚く支援した。

7 卒業記念行事

大学及び同窓会と提携して、令和6年3月20日(水)学位記授与式挙行後、「卒業を祝う会」を実施した。

8 福利厚生費の活用

- (1) 学生の安全と安心につながる防災用品及び備蓄品等を購入するため、この経費を大学に寄付した。
- (2) 学生食堂南側に設置する屋外ベンチが、座面のひび割れにより一部破損しているため、10台を購入して寄贈した。

9 活動強化事項

- (1) 支部懇談会場の内容を充実させ、会員にとって有意義な機会となるよう以下の企画を実施した。
- 学長及び理工・経営・人間学部長講話
 - 卒業生による就職活動体験談
 - 就職情報会社講話
 - 専修大学キャリア形成支援課職員による講話
 - “昼食”をとりながら会員相互及び教員との懇談
 - 記念品(クリアファイル、ゼブラクリップオンマルチペン、フェイスタオル)の配付
 - 映像「学長挨拶等」を制作し、石巻会場以外で上映
- (2) 支部ごとに会合等を開催する場合には地方支部交付金を支給し、経費の補助を行うことにしていたが会議費用及び通信運搬費等で支出の要望はなかった。

以上

令和5年度 育友会決算報告書

[自] 令和5年4月1日 [至] 令和6年3月31日

● 収入の部

単位: 円

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増・減 (A)-(B)	備 考
①会費	13,300,000	13,080,000	220,000	会費@10,000×1,308 名
②雑収入	1,000	52,900	△51,900	預金利子
収入計	13,301,000	13,132,900	168,100	
前年度繰越金	14,038,226	14,038,226	0	
合 計	27,339,226	27,171,126	168,100	

● 支出の部

単位: 円

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増・減 (A)-(B)	備 考
(1) 会 議 費	113,000	0	113,000	
1 総 会 費	50,000	0	50,000	定期総会開催費
2 役 員 会 費	60,000	0	60,000	常任役員・幹事・支部長会 開催経費
3 その他の会合費	3,000	0	3,000	大学関係者との会合開催経費
(2) 通 信 費	1,920,000	1,364,944	555,056	
1 会報発送費	110,000	91,720	18,280	「いくゆう」 発送費
2 ニュース専修発送費	1,110,000	1,032,344	77,656	発送費(年 11 回)
3 その他の通信費	700,000	240,880	459,120	・育友会案内発送費、学業成績発送費、事務連絡発送費・はがき代、切手代
(3) 事 務 費	1,860,000	1,201,005	658,995	
1 旅費交通費	1,010,000	634,750	375,250	常任役員・幹事・支部長会の旅費交通費
2 消耗品費	500,000	319,164	180,836	・事務用消耗品・公衆衛生用消耗品・大学祭参加のための消耗品
3 事務委託費	350,000	247,091	102,909	・ニュース専修発送手数料・「いくゆう」 発送委託料
(4) 印 刷 費	900,000	437,800	462,200	・支部懇談会等資料印刷・封筒印刷・「いくゆう」制作・印刷
(5) 支部懇談会費	2,800,000	2,427,864	372,136	・会場借用料、懇談会食代、担当者旅費交通費・外部講師講演代、卒業生等の講話謝礼金・支部懇談会打合せ代
(6) 支部交付金	140,000	0	140,000	地方支部運営交付金(会合費等の補助)
(7) 学 生 助 成 金	350,000	350,000	0	就職活動用グッズ等購入代
(8) 学 生 援 助 費	5,000,000	4,130,000	870,000	サークル活動援助金(強化指定団体・全国大会出場団体等を重点的に支援)
(9) 卒 業 記 念 費	220,000	300,000	△80,000	「卒業を祝う会」開催経費
(10) 慶 弔 費	100,000	0	100,000	会員・学生の慶弔費
(11) 福 利 厚 生 費	2,600,000	1,198,500	1,401,500	・学生生活の環境を充実させるための経費(屋外ベンチ10台を購入し寄贈)・防災用品および備蓄品等の経費・記念品代
(12) 雑 費	120,000	81,180	38,820	銀行振込手数料
(13) 予 備 費	11,216,226	0	11,216,226	硬式野球部・女子競走部等の全国大会出場に伴う新聞広告代他
次年度繰越金	0	15,679,833	△15,679,833	
1 普 通 預 金	0	10,679,833	△9,038,226	
2 定 期 預 金	0	5,000,000	△5,000,000	次年度繰越金の一部を定期預金とする。※R4.11.29*
合 計	27,339,226	27,171,126	168,100	

令和6年度 事業計画について

1 育友会員との連絡強化と育友会広報活動

- (1) 会員ご子女の「修学状況通知書(成績)」、『履修届』の送付に係る郵送費(4月末日発送分)を支出する。
- (2) 大学の概要や育友会の活動等を広く広報するための会報『いくゆう』(第31号)を発行する。
- (3) 学校法人専修大学が発行し、本学を含む2大学の活動状況を伝える新聞『ニュース専修』を毎月送付する。(年11回)
- (4) 「育友会ホームページ」にて各種行事等の案内や情報提供を継続して行う。

2 会議の開催

育友会の円滑な運営を行うため次の会議を開催する。

- (1) 定期総会 令和6年 5月26日(日) 実施
- (2) 役員・幹事・支部長会 令和6年10月13日(日)【石巻祭】実施
令和7年 3月20日(木)【学位記授与式】

3 育友会支部懇談会の開催

支部懇談会を9会場で開催する。

開催日	開催地	会場
5月26日(日)	宮 城(石巻)	石巻専修大学
6月 2日(日)	岩 手(北上)	プランニューキタカミ
6月 9日(日)	山 形	山形国際ホテル
6月16日(日)	宮 城(仙台)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口
6月30日(日)	秋 田	ANA クラウンプラザホテル秋田
7月 7日(日)	青 森	ホテル JAL シティ青森
7月 7日(日)	東 京	専修大学神田校舎
7月14日(日)	福 島(郡山)	郡山商工会議所
7月14日(日)	熊 本	専修大学熊本玉名高等学校

4 大学祭への参加

育友会の企画として大学祭に参加する。大学祭への参加は、育友会の活動を来場者に広く周知するとともに、育友会員同士の交流を促すことを目的に実施する。企画の実施が可能な場合『餅つき体験と餅の振る舞い』とする

※企画の実施ができない場合は、石巻祭実行委員会の要望に沿った支援を行う。

5 学生への助成

3年次生が就職活動を開始するために必要となる就職活動用グッズの購入費用を支援する。

6 学生に対する援助

サークル活動に対する援助を行う。特に全国大会への出場等で特別な支出が必要となった際は、硬式野球部、女子競走部、弓道部等に手厚く支援する。

7 卒業記念行事

大学及び同窓会と提携して、令和7年3月20日(木) 学位記授与式挙行後、「卒業を祝う会」を実施する。

8 福利厚生費の活用

(1) 学生の安全と安心につながる防災用品及び備蓄品等を購入するため、この経費を大学に寄付する。

(2) 学生食堂での「100円カレー」の提供に係る助成を行う。

(3) 学生寮南側自転車用駐車ラックの設置に係る助成を行う。

(4) 令和6年能登半島地震に係る災害義援金を支出する。

令和5年度石川県圏域に保証人住所のある学生は33名(被害なし) いる。
被災地域の早期の復興に向けて「日本赤十字社」へ義援金を送る。

9 活動強化事項

(1) 支部懇談会場の内容を充実させ、会員にとって有意義な機会となるよう以下の企画を実施する。

- 学長及び理工・経営・人間学部長講話
- 卒業生による就職活動体験談
- 就職情報会社講話
- 地域にあるジョブカフェによる講話
- 専修大学キャリア形成支援課職員による講話
- “昼食”をとりながら会員相互及び教員との懇談
- 記念品(クリアファイル、ゼブラクリップオンマルチペン、フェイスタオル)の配付
- 映像「学長挨拶等」を制作し、石巻会場以外で上映する

(2) 支部ごとに会合等を開催する場合には地方支部交付金を支給し、経費(会議費用、通信運搬費等)の補助を行う。

以上

令和6年度 育友会収支予算書

[自] 令和6年4月1日 [至] 令和7年3月31日

● 収入の部

単位：円

科 目	6年度予算額(A)	5年度予算額(B)	対前年度増・減 (A)-(B)	備 考
①会費	12,380,000	13,300,000	△920,000	会費@10,000×1,238 名
②雑収入	1,000	1,000	0	預金利子
収入計	12,381,000	13,301,000	△920,000	
前年度繰越金	15,679,833	14,038,226	1,641,607	
合 計	28,060,833	27,339,226	721,607	

● 支出の部

単位：円

科 目	6年度予算額(A)	5年度予算額(B)	対前年度増・減 (A)-(B)	備 考
(1) 会 議 費	113,000	113,000	0	
1 総 会 費	50,000	50,000	0	定期総会開催費
2 役 員 会 費	60,000	60,000	0	常任役員・幹事・支部長会 開催経費
3 その他の会費	3,000	3,000	0	大学関係者との会合開催経費
(2) 通 信 費	1,920,000	1,920,000	0	
1 会報発送費	110,000	110,000	0	「いくゆう」 発送費
2 ニュース専修発送費	1,110,000	1,110,000	0	発送費(年11回)
3 その他の通信費	700,000	700,000	0	・育友会案内発送費、学業成績発送費、事務連絡発送費・はがき代、切手代
(3) 事 務 費	1,860,000	1,860,000	0	
1 旅費交通費	1,010,000	1,010,000	0	常任役員・幹事・支部長会の旅費交通費
2 消耗品費	500,000	500,000	0	・事務用消耗品、公衆衛生用消耗品・大学祭参加のための消耗品
3 事務委託費	350,000	350,000	0	・ニュース専修発送手数料・「いくゆう」 発送委託料
(4) 印刷費	900,000	900,000	0	・支部懇談会等資料印刷・封筒印刷・「いくゆう」 制作・印刷
(5) 支部懇談会費	2,800,000	2,800,000	0	・会場借用料、懇談会食費、担当者旅費交通費・外部講師講演代、卒業生等の講話謝礼金・支部懇談会打合食事代
(6) 支部交付金	140,000	140,000	0	地方支部運営交付金(会費等の補助)
(7) 学 生 助 成 金	2,374,000	350,000	2,024,000	
1 物品購入助成金	350,000	350,000	0	就職活動用グッズ等購入代
2 食事提供助成金	2,024,000	0	2,024,000	「100円カレー」助成金(1日当たり平均食数×@240×34日間)
(8) 学 生 援 助 費	9,000,000	5,000,000	4,000,000	
1 サークル活動援助金	5,000,000	5,000,000	0	サークル活動援助金(強化指定団体等を重点的に支援)
2 全国大会出場経費	4,000,000	0	4,000,000	硬式野球部・女子競走部等の全国大会出場に伴う経費
(9) 卒 業 記 念 費	300,000	220,000	80,000	「卒業を祝う会」開催経費
(10) 慶 弔 費	100,000	100,000	0	会員・学生の慶弔費
(11) 福 利 厚 生 費	2,600,000	2,600,000	0	・学生生活の環境を充実させるための経費・防災用品および備蓄品等の経費・記念品代
(12) 雑 費	120,000	120,000	0	銀行振込手数料
(13) 予 備 費	5,833,833	11,216,226	△5,382,393	予定外の支出および予算を超過した支出へ対応するための準備金
合 計	28,060,833	27,339,226	721,607	

■ 名称

第1条 この会は、石巻専修大学育友会（以下「本会」という。）と称する。

■ 目的

第2条 本会は、石巻専修大学（以下「大学」という。）の方針に則り、大学と学生の家庭との連絡を緊密にして大学の発展向上に寄与し併せて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

■ 本部及び支部

第3条 本会は、本部を大学内に置き、全国の必要な地区に支部を置く。
2 支部細則は、別に定める。

■ 会員

第4条 本会は、次の会員をもって組織する。
(1) 正会員 大学の学部在籍する全学生の父母又はこれに代わる保護者
(2) 特別会員 大学に勤務する教職員

■ 事業

第5条 本会は、次の事業を行う。
(1) 学生の学業・徳操並びに生活に関し家庭との連絡を図る事項
(2) 学生の厚生・保健並びに医療の助成に関する事項
(3) 学生の研究助成並びに経済援助に関する事項
(4) 教職員と父母との懇談会を開催する事項
(5) その他本会の目的を達成するために必要な事業

■ 運営経費

第6条 本会の運営経費は、会費及び寄付金をもって充てる。

■ 会費及び寄付金

第7条 正会員は、会費として別に定める金額を、毎年度の始めに納入しなければならない。
2 寄付金がある場合は、随時本会へ納入する。

■ 役員

第8条 本会に、役員として会長1名、副会長4名以内、監査役2名及び幹事若干名と各支部に支部長を置く。

■ 役員の選出

第9条 会長、副会長及び監査役は、幹事会において選出し、総会において報告するものとする。
2 幹事は、会員の中から会長がこれを委嘱する。
3 支部長は、各支部において選出し、会長がこれを委嘱する。

■ 役員の任期

第10条 本部役員の任期は、4月1日から翌年3月31日までの1年とする。ただし、再任を妨げない。

■ 役員の職務

第11条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
2 会長が不在のとき、又は欠けたときは、副会長がその職務を代行する。
3 副会長は、会長を補佐する。
4 監査役は、会務及び会計を監査し、総会に報告する。
5 幹事は、会長の命を受け、必要に応じてこの会の業務を行う。
6 支部長は、各支部を掌握し、本部との連絡を緊密にする。

■ 会議の招集

第12条 本会に、総会、幹事会、常任役員会及び支部長会を置き、それぞれ会長が招集し、その議長となる。

■ 会議の構成及び開催

第13条 総会は、正会員と特別会員で構成し、定期総会と臨時総会を開催する。
(1) 定期総会は、年1回開催する。
(2) 臨時総会は、必要に応じて開催する。
2 幹事会は、常任役員会構成員及び幹事で構成し、必要に応じて開催する。
3 常任役員会は、会長、副会長、監査役及び育友会主任で構成し、必要に応じて開催する。
4 支部長会は、常任役員会構成員及び各支部長で構成し、定期に年1回開催する。

■ 会議の審議事項及び議決

第14条 総会は、予算、決算及び事業計画、その他重要事項を審議する。
2 幹事会は、総会提出議案、その他重要事項を審議する。
3 常任役員会は、総会並びに幹事会における決定事項を執行し予算案及び決算書類を作成し、その他重要事項を審議する。
4 支部長会は、地方懇談会の開催、その他重要事項を審議する。
5 第1項及び第2項の議決は、出席会員の過半数の同意によるものとする。

■ 名誉顧問、顧問及び相談役

第15条 本会に、名誉顧問、顧問及び相談役を置くことができる。

■ 育友会主任及び事務職員

第16条 本会に、大学より選任された育友会主任及び事務職員を置く。
2 育友会主任は、大学の教授若しくはこれに準ずる者とし、その任免権は学長に帰属する。
3 育友会主任は、大学選出の役員として常任役員会、幹事会、総会等に出席し、本会の運営に対して助言と指導を行う。
4 事務職員は、大学職員とし、その選任は学校法人専修大学理事長の所管とする。
5 事務職員は、本会の経理及び会務を掌管する。

■ 資産管理

第17条 本会の資産管理の責任は、会長及び常任役員会が負うものとする。

■ 会計年度

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

■ 会則の改廃

第19条 この会則の改廃は、総会の議決によらなければならない。

■ 附 則

この会則は、平成3年4月1日から施行する。
この会則は、平成7年7月22日から施行し、平成7年4月1日から適用する。

i 育友会とは

石巻専修大学の方針に則り、学生のご父母（保証人）の皆様を正会員とし、大学と家庭との連絡を密にして、学生のより良いキャンパスライフと大学の発展向上に寄与し、併せて会員相互の連携を図ることを目的として設置されているのが育友会です。大学内に本部を置き、会員の多い県に支部を設置し、様々な活動を行っています。

育友会は各支部の活動をサポートいたします

支部懇談会以外にも保証人同士のつながりを増やしたい、支部の活動を充実させたい、など育友会の活動に要望がございましたら、お近くの支部にご連絡ください。各支部と連携し、より良い体制づくりを進めてまいります。

ご連絡

石巻専修大学 育友会

TEL.0225-22-7743



学長メッセージ



地域とともに
学生と地域社会の未来をつくり、
社会から真に必要とされる
大学を目指します

石巻専修大学
学 長 尾 池 守

育友会のご家族の皆様と大学を結ぶ信頼の架け橋

育友会会員の皆様には日頃より石巻専修大学に対してご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

育友会は学生諸君のご家族の皆様（育友会会員）と大学とが緊密に連携を図るための組織です。育友会の活発な活動に基づいた本学へのご提言は、大学のこれからを考えるうえで、極めて重要なことと受け止めています。本学はご提言を踏まえて、学業や進路だけでなく、健康や住居等さまざまな観点から学生諸君を支援すべく具体的な改善を進めてまいります。

育友会の活動の中でも最大の事業であります「支部懇談会」は、今年は5月26日（日）から7月14日（日）にかけて、東北6県（宮城県は石巻と仙台）と東京都（専修大学）そして熊本県（専修大学熊本玉名高等学校）の9会場で開催し、延べ142名（昨年117名）の皆様にお越しいただきました。特にコロナ禍の影響もあり6年ぶりの開催となりました九州・沖縄地域の会員を対象とする熊本県支部懇談会は、会員の67%の方にご参加頂き、活発に交流いただきました。

支部懇談会の各会場では、昼食を共にしながら、本学の現状について教職員から説明させていただき、個別相談を実施し、関係教職員が学業成績および履修状況、学生生活全般、就職・進路等について、会員の皆様からの相談にお答えさせていただきました。

また、育友会のご支援のもと学生食堂では「100円カレー」を4月から実施し、夏期休暇期間を除いた10月までの5か月間で約5,800食（1日当たり232食）を提供しました。さらに、学生の一大イベントである「石鳳祭」では昨年と同様に「餅つき体験&餅の振る舞い」を実施していただき大好評でした。

「第2次中長期ビジョン（2025～2029年度）」の策定

来年度からの5年間を見据えた「第2次中長期ビジョン」を策定し10月に公表しました。文理横断型の教育研究活動や社会知性を活かし、「地域に根ざして世界に尖った大学」をブランドスローガンとして掲げ、地域とともに学生と地域社会の未来をつくり、社会から真に必要とされる大学を目指します。そのためには、教員が研究活動に基づいた実践的な授業を提供し、「ISHINOMAKI IS CAMPUS」に基づいて学生の皆さんが地域社会の諸課題に取り組み、その成果を世界に向けて発信できるよう支援していきます。

学生の皆さんには、5年後、10年後を見据えながら「これなら勝てる」「これこそ得意」という「尖った」ものを見つけ、社会に出ても生涯学び続けることができる人材に育ててほしいと願っております。自分の夢の実現に向けて、大きな希望を胸に大学を巣立っていただけますよう、育友会の皆様のご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

石巻専修大学中長期ビジョン（2020～2024年度）

- 1 社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材を育成する
- 2 教育研究活動を充実させる
- 3 学習の質を向上させる環境を整備する



石巻専修大学育友会広報誌

IKUYU

【いくゆう】
vol. 31
2024.12

発行者／石巻専修大学育友会 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1

育友会に関するご相談がございましたら遠慮なくご連絡ください。

TEL 0225-22-7743

FAX 0225-22-7710

E-mail ikuyu@isenshu-u.ac.jp



●ホームページではキャンパスの最新情報を発信しています。

<https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>